

(記述式)

災害発生状況	災害原因	対策

特性要因の簡易分析法

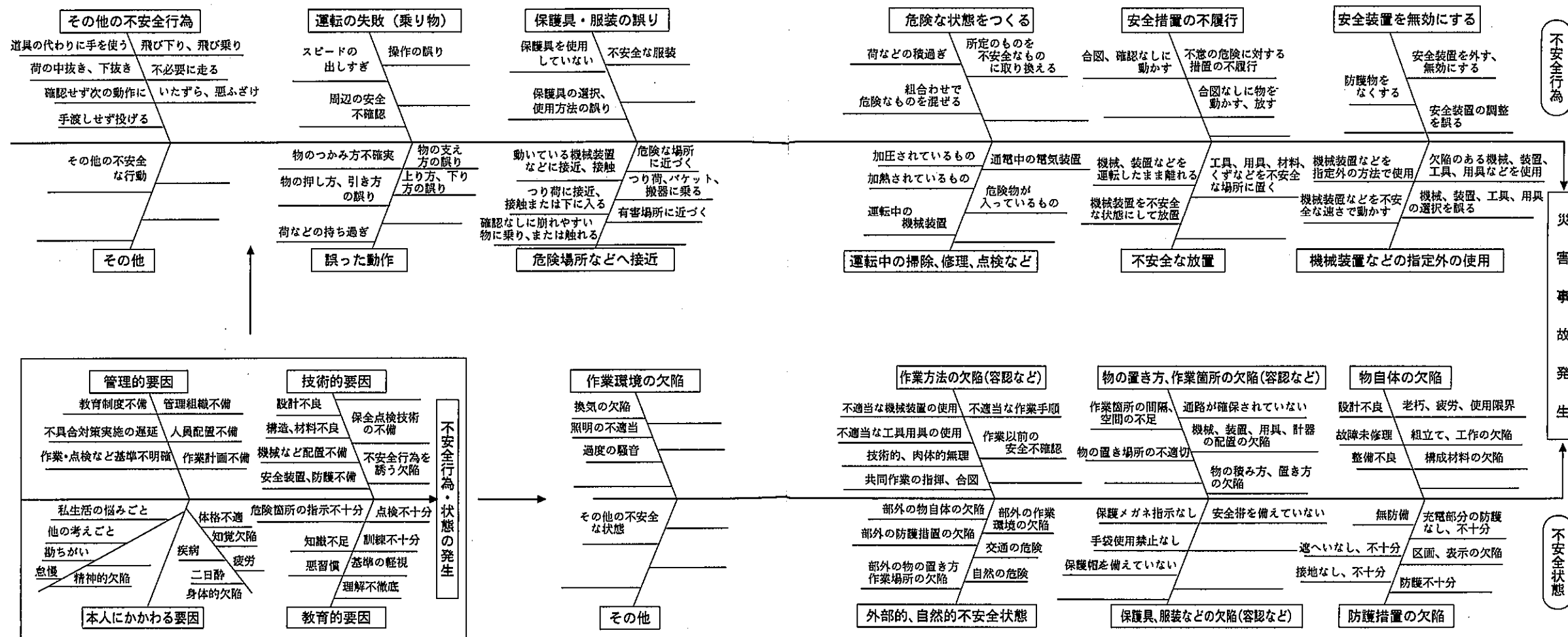
該当する要因を
次々にチェック

特性要因図の作成は、各事業場で考えられる要因がさまざまであるため、独自に行われることが望ましい。しかし、慣れないうちは時間もかかり、手間取ることもあろう。

そこで、どここの現場でもすぐに使え、役に立つ特性要因図の例を以下に示した。

丸印で囲むなどして該当する項目をすべてチェックし、不足する項目を余白に設けられるようになっていている。大骨(幹)にあたる大項目そのものを、現場の実情に即した形で新たに設けるのもいい。

災害発生までの原因と結果の関係を説明する特性要因図本来の効用とともに、チェックリストとしても活用することができる。結果(災害発生)から遡れば、対策を立てるのにも役立つ。



(記述式)

発 生 日 時	発 生 場 所	発 生 時 作 業 名
年 月 日 (曜) 時 分		

(記述式)

作 業 の 種 類	不 安 全 行 為	不 安 全 状 態	要 因
定常作業 非常作業	本 作 業 前 後 周 辺 等	単 独 共 同	